

1. アルゴリズム探究

プログラム言語である、「Visual Basic for Application」または「Python」を活用して、基本的なプログラムから、高度なアルゴリズムを組み込んだプログラムを作成する知識と能力を身に着けることを目標とします。また、情報社会に関する基礎的な知識や論理的な思考方法について学習し、社会人として必要なリテラシーを身に付けます。

2. ビジネスと会計探究

1, 2年生で学んだ簿記・会計に関する知識・技術を活用しながら、本校で3年間続けてきた五商ショップの会計情報を資料に、実際の取引から財務諸表を作成して分析する講座です。さらに、実際の資金調達からビジネスを実践することも想定しています。各自が主体的に活動することを通じて、ビジネスに必要な手続きとコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。ゼミ形式のグループワークを中心に行い、定期的に報告をしてもらいます。報告後、関連するテーマについてグループディスカッションを行います。将来、大学で会計やマネジメントを学びたい人、公認会計士や税理士になりたい人、または、起業に強い興味関心がある人向けの講座です。さらに、「五商ショップ」を起業・経営することで、自発的に課題を見つけ、解決する力を身につける講座です。令和3年度より、株式会社JR中央線コミュニティデザイン様の協力で、国立駅に出店し販売実習や商品開発を行っています。基本的に、何をどのようにするのかすべて生徒たちで考え、決めることとなります。このような授業を経験することで、将来、ビジネスの現場で、様々な困りごとが解決できる力を身につけられると考えます。このように、外部での活動が多いため、受講者には、会計に関する興味関心と、会社の一員としてのビジネスマナーが求められます。

3. ビジネスプラン探究

2年次におけるビジネスアイデアやマーケティングを基礎にして、発展させる。各自が主体的に活動することを通じて、チームワークやコミュニケーション能力を培うことを目的としています。また、STP分析・SWOT分析などを通じて、さまざまな角度からビジネスプランの分析を行います。

4. 広告デザイン研究

指定したテーマにそって、課題を考え研究して、ワープロソフトを使い作品を制作し、発表を行います。コンテスト等への応募も検討しています。フォントの変更・文字の加工・図形の加工・特殊文字・行間隔など文書作成ソフトウェア活用能力を体得することに加え、ソフトの操作技術のみならず、自ら考える力と、表現する能力と総合的な創造力の発揮し、課題であるテーマに対し、広く社会の情報を集め探究を行い、課題を作成し発表・提出します。

5. 消費者行動探究（専門書を読んでみよう）

「オヤジ臭対策ばっちりの化粧品」をあなたは購入するでしょうか？購入するとすればその理由は何ですか？反対に購入しないとすればその理由は何ですか？これらの問いからわかるように、皆さんが日頃目にしている商品やサービスは、すべての人に愛用されることをめざしていません。特定の誰かのために作ったり提供したりしているのです。消費者が商品を購入する理由（買う理由）あるいは購入しない理由（買わない理由）を、専門書を読むことや議論することを通じて考えていくことがこの講座の目的です。そして将来、商品・サービスを提供する側になったときに活かせる考え方を学んでいきます。

6. IT探究

情報化社会が進展する中での情報技術（IT）について、より深く探究する。分析手法については、基礎的な統計学的手法を用い、コンピュータを活用して分析することを目標とする。具体的なIT関連の事例（情報システムやソフトウェア、AI、フィンテックなど）を調査し、その動向をもとに、情報化社会の現状や課題などについて考えていきます。とくにIT業界について興味があり深く知りたい人や将来、情報処理技術者としてITに関する知識を活用していきたい人に向けています。また、数値などのデータを処理し論理的に考えていくことを目指します。

調査研究に関しては、次のような内容を予定しています。

①統計学の基礎知識（統計データ分析コンペティション）

②基本的なIT知識（情報処理技術者試験に関する知識）

③ITの活用に関する事例研究

④作品（論文）制作および発表（プレゼンテーション）

- ・学習事項の確認において適宜、小テストを実施します。
- ・調査に関してレポート提出や発表があります。
- ・分析や発表においては、エクセルやパワーポイントなど情報機器を活用します。
- ・探究結果を、論文などの形としてまとめ、作成する必要があります。
- ・大量のデータを処理・解析する意欲が必要です。

7. 時事問題探究

テレビや新聞記事を利用しながら日々の時事問題について探究する。

・新聞に掲載されているニュース解説の記事を切り抜いてスクラップし、読み解きながら、記事の理解を深める。

・天声人語のコラムを読み、その内容を書き写す。その作業を通じて身の回りで起きている事象や出来事に敏感になるとともに語彙力や文章力を培う。

・報道ドキュメンタリーの映像を見ながら政治経済の動きや、暮らしに直結する話題など幅広いテーマで学ぶ

学んだ内容に関しては、自分の意見や考えをまとめる。2学期は自分でテーマを決めて、一人一人発表する。発表内容に関して他の生徒の意見を求めながら内容を深める。

8. 商業施設の出店計画探究

イオンモール動き出す…

都内には、むさし村山（2006年）、日の出（2007）、東久留米（2013）、多摩平の森（2014年）と相次いで開業しましたが、最近10年は新規出店計画はありませんでした。ついに、2026年春にイオンモール八王子IC北（仮称）が「次世代型複合商業施設」として開業します。ショッピングモールは、それ自体が一つのコンセプトをもった「街」です。みなさんならどのようなコンセプトで集客装置を配置し、どんな店舗を誘致して、フロアごとに配置していきますか。現存するショッピングモールの研究を深め、みなさんなりの新しいコンセプトを持ったショッピングモールの設計図およびその考えを一つの作品として仕上げ発表、提出となります。

9. デジタル技術の探究

ビジネス活動の中で用いるOffice Softの活用法を探求します。なお、Office SoftにはWord・Excel・PowerPoint・Accessなどがあるので、興味のある科目から取り組みをはじめ、1学期につき1科目ずつ学習することを目安とします。また、学習の形態は自学自習となることを承知して受講してください。

10. 企業財務分析と実務会計スキルの探究

本講座では、企業の財務諸表を分析し、経営状況や業界特性を理解する探究活動を行う。上場企業の決算書を比較し、収益構造・財務健全性・キャッシュフローを分析し、その結果の発表を行う。また、地元企業や会計事務所にヒアリングして、実務で求められるスキルや「検定で学ぶことが現場でどう活かすか」を調査する（まだ不確定）。最終的には、学んだ知識を上位資格の学習に活かし、資格取得を目指す。

11. 起業探究 — 五商ショップ —

これまで学習した商業科目の知識と技術を活用し、実際に「五商ショップ」を起業・経営することで、自発的に課題を見つけ、解決する力を身につける講座です。令和3年度より、株式会社JR中央線コミュニティデザイン様の協力で、国立駅に実際に出店し販売実習を行っています。また、一橋大学の学生と共同で販売実習を行ったり、谷保駅周辺の商店街など、地域と連携したビジネスを実践したりします。基本的に、何をどのように販売するのかすべて生徒たちが考え、決めることとなります。このような授業を経験することで、将来、ビジネスの現場で、様々な困りごとが解決できる力を身につけられると考えます。このように、外部での活動が多いため、受講者には、会社の一員として積極的な活動が求められます。